

初学者向け子どもの心理療法セミナー 2025のご案内

セミナーリーダー：渡邊智奈美

このセミナーは、大学院生や院卒5年目くらいまでの方を対象としています。子どもの精神分析的な心理療法に関心があり、実践し始めたばかりの方を想定しています。子どもの心理療法を行うためには、経験・SVなどの積み重なりが重要ですが、それを補うものとして論文を読むことが助けになるでしょう。論文を一人で読むのは挫折しがちですが、グループで読めば理解も進みやすいかと思います。セミナー前半の1時間で文献のディスカッションを行います。参加者それぞれが事前に読んできて、代表の方に要約を発表していただいたのちに、参加者全員でディスカッションをしていきます。

5分休憩をとったあと、後半の1時間10分で参加者からの職場での経験についての発表とディスカッションを行います（臨床事例でなくても構いません）。ワーク・ディスカッションの方法で、自分と他者（クライアントや仕事で関わっている援助対象者、また、その他職場での同僚や職場集団など）との関係性について“関与しながらの観察”を行い、その相互作用の詳細を記述したレポートを持ち寄って、いろいろと感じたことや気づいたことなどを率直に話し合うことを体験していきます。参加者が自らのさまざまな情緒的体験について言葉にして提示する機会を提供します。初学者ならではの素朴な疑問、心理的援助を提供しようとするうえで生じる不安についても一緒に考えていく場にしたいと考えています。



第2土曜日
(8月と1月はお休み)



13:00～15:15



zoomを用いたオンライン
セミナー

今年度の内容:

今年度は参加者の皆さんが興味関心のある論文を適宜ピックアップして読んでいこうと思っています。

4月のセミナー初回時に皆さんに関心のあるテーマなどをお聞きしたいと思いますので、各自、考えておいてください。自分自身の日々の臨床実践にも役立てることができる手がかりを一緒に探していきたいと思います。

料金: 初回に1年分(25000円)お支払いいただくか、半期ごと【4月に半分(12500円)、10月に残り半分(12500円)】お支払いいただくか、好きなほうを選んでください。

今年度のスケジュール

1

4月12日

イントロダクション 一年間計画・自己紹介などー
子どもの精神分析的心理療法を学ぶ意義について

2

5月10日

ポスト・クライン派の世界

3

6月14日

子どもの精神分析／精神医学 現代の子どもの治療相談

4

7月12日

『発達障害・被虐待児のこころの世界』第1章
安全な場所を見つけることー4歳の子どもの性的虐待から回復すること

5

9月13日

『アタッチメントと心理療法』第3章
くっつくこと

6

10月11日

『被虐待時の精神分析的心理療法』

第1章「タヴィストック・ワークショップ：概要」

7

11月8日

『被虐待児の精神分析的心理療法』

第2章「落ちること、落とされること」、第3章「くっつくこと」

8

12月13日

未定

9

2月14日

『子どものこころの生きた理解に向けて—
発達障害・被虐待児との心理療法の3つのレベル』

第1章「心理療法の仕事のレベルと病理のレベル」

10

3月14日

『被虐待児の精神分析的心理療法』

第4章「見捨てられること」、第5章「性と攻撃性の関連性」

お申込みについて

2025年度については、受付終了しています。

また、2026年度の案内をお待ちください。